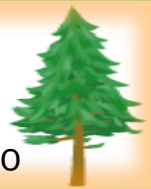




な か す ぎ

一杉並稲門会 第4ブロック報一

Vol. 10



杉並稲門会第4ブロックの皆様へ

今年は明治150年です。この間、戦争と云う不幸な歴史がありましたが、日本人はそれを乗り越えて平和と人権を守る国を築き上げました。しかし昨今、国益や国威のみを優先し、偏狭な排他主義に走る風潮が世界を覆い始めています。このような時代にこそ、安易に権威に迎合せず、多様性を容認する寛大さを持ち、自分で考え判断し行動する早稲田人の「在野精神」が必要ではないでしょうか。

第57回・58回懇親会

7月29日(土)に第57回懇親会は、新会場の「座・高円寺 アンリ・ファール」にて開催された。愉快地飲んで暑気を払おうとの趣旨で、稲門祭グッズの購入をお願い以外は固い話は一切なし。注目を集めたのは、国分寺に居住するも「みずほ銀行 阿佐ヶ谷支店長」に赴任されたので入会し初参加された山口泰生さんだった。「お金のご相談は気楽にお越しください」との挨拶に「そんなお金はありません」との声が飛び一同大爆笑。お楽しみ企画として、世話人の中村京子さん作成・司会の「連想・脳トレクイズ」でまた盛り上がる。最後に元応援団の清水一平さん(1B)のリードで校歌を熱唱しエールを行い、37名が参加した懇親会は大団円となった。

平成29年 7月29日(土)



忘年会を兼ねた第58回懇親会は、12月17日(日)に年末恒例となった「阿佐ヶ谷神明宮」で51名が参加して行われた。楽しく笑って年を越そうとの企画で、前半は川柳つくし師匠(熊井佳奈子さん・4B)の独演会だ。古典・新作落語とウクレレ漫談で会場は爆笑の渦。大いに盛り上がったところで懇親会がスタートする。歓談の間に初参加の山内章弘さん、ゲスト代表の新村康敏さん(1B)、久しぶり参加の中川修一さん、世田谷に移住後も毎回ご参加いただいている中島峰広先生、神明宮の齋藤宮司の軽妙なスピーチがあり笑いが絶えない。会場にプロジェクターを持ち込んで正式なエールの振り付けや活動報告をしたのも好評だった。最後に元応援団の浅見圭祐さんの校歌とエールの指導で楽しい忘年会はお開きになった。



第17回社会見学ツアー



第17回社会見学ツアーは、10月19日(木)に43名が参加して行われた。コースは、日本で初めて作られた飛行場跡に建てられた「所沢航空発祥記念館」→太田道灌親子が築城した「川越城本丸御殿」→250年の歴史がある「松本醤油」→小江戸「川越の散策」→ゴールデンパークで有名な「サイボクハム」だ。社会見学ツアーの魅力は、解説者が豊富なこと。今回も、元日本航空パイロットの水野健樹さんから飛行機の話、杉並郷土史会会長の新村康敏さんから川越の歴史の話があり、現地ガイドの解説と相まって観光と勉強が同時に楽しめた。勿論、美味しい昼食も用意されている。料亭「川越いも膳」で前菜からデザートまで全て名物の芋を使った懐石料理を堪能した。

一金会

人生経験の豊富なお二人から、貴重な体験談をお話いただき、その後に質問も交えた交流会をした。
・9月～櫻井孝男(5B)さんの「満州からの引き揚げ体験談」
・11月～福原毅さんの「和敬塾の人間教育」



早稲田大学と和敬塾の関係について語る福原さん

4ブロック新会員紹介

下記の方が新しく4Bの会員になりました。

- ・宮地 由さん 1980年文学部卒 成田東
- ・山口泰生さん 1990年商学部卒 ブロック外会員

【会員インタビュー】辻本全志さん(1965卒 政経) ～東京フラメンコギター合奏団とスペイン公演～

[フラメンコギター演奏者として活躍されていますね]
大学生時代より、フラメンコギターの第一人者の(故)伊藤日出夫氏と共に約20年間活動し、1990年に東京フラメンコギター合奏団を結成しました。現在まで団長を務め、日本各地や30回以上のスペインでの公演を行っています。60年間ほどフラメンコギターに関わっていますね。

[フラメンコギターとの出会いと学生生活は]

最初はクラシックギターを勉強していました。フラメンコギターに魅力を感じて本格的に取り組んだのは大学に入ってからです。高校の時に伊藤先生に師事し、その後に前述の通り共に演奏活動をしました。また、劇研(早稲田大学演劇研究会)にも所属していました。俳優座劇場の「ワーニャ叔父さん」でギターを弾いたこともあるのですよ。コンサートや芝居の稽古で忙しく勉強はあまりしなかったですね。そのせいで1年留年しました。



[スペインには度々行かれているようですが]

1972年から毎年スペインに行き、交流活動や演奏をしています。この間に沢山のスペイン人と懇意になり、その方達が私達の公演を支援してくれています。この人脈は、私の貴重な財産です。東京フラメンコギター合奏団としては1992年にスペインでの初公演をし、94年にはロングのオペラハウスのこけら落としの名誉あるステージに招待されました。恩返しの意味もあり、ボランティアとしてスペインの学校などでも演奏をしています。

[スペイン公演についてお話をください]

マドリッドでも公演しますが、主な舞台はフラメンコが盛んなマラガなどアンダルシア地方です。青柳常夫さん(歌手)やフラメンコダンサーを日本から帯同して行くこともあります。青柳さんの「最上川舟唄」は人気がありました。ただ、土着性の強い現地の演奏を真似ても限界があります。私達はあくまで「ギター音楽」として、フラメンコの音楽性や芸術性を追求する方法をとりました。「フラメンコギター合奏団」といっても、やはり日本的なものも要求されますから、著名な現代音楽作曲家の今井重行さんをお願いして2曲を作曲して頂きプログラムの芯に組んでいます。フラメンコの歌をギターだけで表現した「シギリアの変容」と日本音階の「長楽寺幻想」です。

[沖縄での公演も多いと聞いていますが]

きっかけは人との出会いです。与那国島のおばあちゃん



演奏中の辻本さん

と知り合い、沖縄に行くようになりました。その内、島の人たちが辻本さんの演奏会を開こうと準備を始めてくれました。そして手作りのコンサートがスタートし、その輪がどんどん広まっていき、沖縄の大女優である仲田幸子さんとのジョイントコンサートにまで発展していきました。私は無名、彼女は超有名人ですので、本来ならば前座を務めるべき処ですが「今回は辻本さんが主役よ」と云ってくれてトリを飾りました。沖縄には東京では失われつつある人の温かさが根強く残っていますね。

[最近では日本でフラメンコがブームですね]

フラメンコの底辺が広がっていくのは嬉しいですが、ただ、ファッション性やカッコよさだけでフラメンコを愛好するのは如何かと思います。「アンダルシアに行ったら泥を舐めろ」との言葉があるように、風土に根差した民族芸能であることを、少しは理解して向き合ってほしいですね。

[最後に、これからの生き方についてお聞かせください]

80歳になり足腰が悪くなってきました。また、団員のレベルも上がり、私がいなくても演奏会が出来るようになりました。そろそろ進路を決断しなければならない時期にきていると感じています。ただ、大きな演奏会では私が必要ですし、公演をプロデュースするには私が築いた内外の人脈が不可欠なので、生涯現役で生きたいですね。



東京フラメンコギター合奏団スペイン公演(右から2人目が辻本さん)

訃報

篠 紘弥さん(1963年商学部卒 阿佐谷北)が5月29日に76歳でご逝去されました。音楽を愛する穏やかな紳士でした。奥様(ファミリー会員)と仲良く一緒にクラシック音楽愛好会の集まりに参加されておられたお姿が印象的でした。謹んでお悔やみ申し上げます。

催事予定(本部・第4ブロック)

今年度上半期の催事予定は下記の通りです。皆様のご参加を心からお待ちしております。

1月:12日(金)第41回一金会 会場: akaitomato

※辻本全志さんの「誰も知らない戦中・戦後の沖縄の歴史」

27日(土)杉並稲門会新年会 会場: 吉祥寺第一H

2月:2日(金)第42回一金会 会場: akaitomato

3月:2日(金)第59回懇親会 会場: 荻窪つばめグリル

4月:13日(金)第43回一金会 会場: akaitomato

5月:実施日未定 第18回社会見学ツアー

:実施日未定 杉並稲門会総会

6月:実施日未定 第44回一金会 会場: akaitomato

情報やご意見をお寄せください

発行責任者: 第4ブロック世話人代表 西野正浩

編集責任者: 柄谷隆宏 ☎03-5932-2598

メールアドレス: t.karatani@jcom.home.ne.jp

2018年1月発行